



御滝中学校便り

瀧の音

令和4年度 特別号

2023. 3. 1

Tel 047-448-3102

生徒数960名

御滝中学校 学校教育目標「鋭敏な知性と感性を備えた人間性豊かな生徒の育成」

○自ら学び、考え、創造する生徒の育成 ○礼儀正しく、思いやりのある生徒の育成 ○心身ともにたくましく、健康な生徒の育成

学校評価アンケートの結果について

校長 掛村 利弘

学校評価アンケートへ回答いただき、誠にありがとうございました。学校評価の結果を受け、来年度の本校の教育活動の見直しと改善に向けた手立てを検討していきます。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、できるだけ行事や学習などの教育活動を行えるよう対応してきました。保護者の皆様にも授業参観で様子を見ていただいたように、生徒は毎日落ち着いて、一生懸命学習に取り組んでいます。来年度もご家庭の協力を得ながら、教育活動を行っていきたいと考えています。別紙に今年度の生徒及び保護者様からのアンケート結果をまとめました。ご一読いただき、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

令和4年度の学校評価の分析

○生徒の評価から

- ・15項目中10項目について、AB(肯定的な意見)の割合が80%を越え、高い割合となった。
- ・No4学校は安心安全な環境づくりに努めているか、はABの割合が90%を越えている。
- ・No14規律を守って生活しているか、は全体の95%を越える生徒が肯定的な回答を行っており、落ち着いた学校生活につながっていると考えられる。
- ・No12礼儀正しく思いやりを大切にしているか、No15人間関係は良好か、についてもABの割合が90%を越えており、No8道德教育を通して心の教育(ABの割合90%以上)が浸透していることが考えられる。
- ・No2わかりやすく充実した授業を行っているかについては、ABの割合は88%である。多くの生徒がわかりやすいと感じているが、CDの生徒が10%程度いるので、さらにその生徒に寄り添った教え方を考えていく必要がある。
- ・No11楽しく学校学校生活を送っているか、はABの割合が89%と高い割合である。ただ、すべての生徒に学校が楽しく感じられるよう、100%に近づける努力が必要である。No6悩み相談にはCDの生徒が27%いることもあり、教育相談、SCの活用の充実をおこなっていききたい。
- ・No13家庭学習については、保護者(CD48%)と生徒(CD25%)が課題に感じており、学校でも学習計画をしっかり立てて、家庭でも学習できるような支援をしていきたい。

○保護者の評価から

- ・昨年度と比べて21項目中、10項目が上がり、9項目変化がなく、2項目下がった。
- ・AB(肯定的な意見)の割合が80%を越えている項目が13項目あり、高い水準であった。
- ・No3家庭との連絡・連携、No9情報提供は(ともにAB88%)高い評価となり、休んだときの連絡や、オンライン学習、メール配信、HPなど、家庭との連携を図ることができた。
- ・No12コロナ禍の学校行事・公開、No13暑い時期の服装なども高い評価であった。
- ・SDGsへの取り組みは、保護者、生徒ともにABの割合が90%を越えており、主権者教育から変わって初年度であったが、生徒の身近な存在になってきていると考えられる。
- ・No15(下段1)子どもが夢や希望をもっているか(CD27%)、No18(下段4)家庭学習を行っているか(CD48%)、には課題があった。生徒に自己肯定感を持たせる活動を取り入れていく必要がある。

令和5年度に向けた重点

◎学校運営

- ・「家庭・地域とともにある伝統校の更なる躍進」のスローガンを継承します。
- ・令和5年度より御滝中学校は地域とともに教育を進めるコミュニティスクールへ移行します。
- ・持続可能でよりよい世界を目指す国際目標「SDGs」を意識した取り組みをさらに深めていきます。
- ・感染症対策で得た「学校の新しい生活様式」を生かした教育計画を立案します。
- ・教職員の研修の充実を図ります。
- ・教職員の働き方改革を一層推進します。

◎学習指導

- ・新学習指導要領に沿った学習・評価を展開します。
- ・GIGAスクール構想の実現のため、一人一台のコンピュータを活用した学習や授業改善に取り組みます。(ICT教育の充実を図ります)
- ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化及び充実に取り組みます。

◎生徒指導

- ・「二本の白線の心」を実践できる生徒の育成を目指します。
- ・自己肯定感を高め、生き生きと自らを高めようとする生徒の育成を目指します。
- ・自己理解や他己理解を通し、互いに高め合える生徒集団の育成に努めます。
- ・自分たちの生活は自分たちで考え改善できる生徒の育成を目指します。
- ・教育相談を充実させると共にアンケートを適宜実施し、「いじめのない学校」を目指します。
- ・長期にわたって休む生徒の気持ちに寄り添い、生徒全員が学校が楽しく通えるような学校環境を目指します。
- ・異年齢の活動として部活動の充実を図ります。